

・移住交流支援センターだより・

NPO
グリーンパレーの
伊藤・吉田が
お届けします。



お問い合わせ
☎676-1177
IP: 2028

空き家情報を募集しています

賃貸・売買を希望される町内の空き家・土地の情報を募集しています。町外からの引っ越しや、町内での住み替えで空き家を探している方の問い合わせが増えています。古いお家・山中の立地でも、そこに魅力を感じて家を探している方もいます。

新たな住み手が決まったお家の、不要な荷物の片付けもセンターがお手伝いしています。管理にお困りの空き家がありましたら、移住交流支援センターまで一度お気軽にご相談ください。

今月のインタビュー

大阪から移住した清家さんご家族を紹介いたします。今年4月から阿野字大地で、認可外保育施設「お

新規移住相談件数
8月…19件
9月…9件



山のようちえん「ねっこぼっこ」を開園されました。

〈移住のきっかけ〉

子どもが生まれ、これからの暮らしを考える中で「移住するなら地方がいいね」と夫婦で話していましたが、関西での移住も検討しましたが、妻の実家がある徳島で探すことに。いろんな市町村で空き家を探してみるも、条件に合う物件がなかなか見つからず、そんな中「大埜地の集合住宅」の入居募集に応募すると、運よく入居が決まりました。

〈移住後の仕事や暮らし〉

移住が決まり、急いで仕事を探し始めました。大阪で10年やってきた保育士を続けようと、保育観が似ている保育所を探して見学に行きましたが、仕事のご縁はなく…そんな

な時にフードハブの求人を見つけ、かま屋で働くことになりました。

神山で暮らす中で、野外保育の活動について友人たちと話す機会が増え、その需要に気づきました。また長女がどんどん自立していく姿を見るにつれ、家族の時間をより大事にできる働き方に変えたいと思い、3年間勤めたかま屋を昨年退職し、夫婦で「ねっこぼっこ」を開園しました。

〈「ねっこぼっこ」について〉

空き家だった一軒家を借りて、保育施設として活用させてもらっています。耕作放棄地になっていた南天畑を伐採して根っこを掘り起こしたり、雨漏りで傷んでいた屋根や床を修理したりと、施設やフィールドの準備に10ヶ月かかりました。対象年齢は年少から年長で、今は11人の子どもたちが通っています。スタッフ



清家 結生 秋田県出身
由香理 徳島市出身
花朝 大阪府出身
朝色 大阪府出身
神山生まれ

神領大埜地在住



木登りする子どもたち

- 空き家から出るモノを再利用 - 「モノストック」オープンデー

11/26(土) 9時~12時
12/13(火) 9時~12時
神領青井夫・旧国道沿い



は私たち夫婦の他に、3名のアルバイトが日替わりで来てくれており、子どもたちの「今これをした」という思いにできる限り寄り添えるよう、子ども3〜4人に大人1人の割合で保育をしています。1日をどう過ごすかは、毎朝子どもたちと相談して決めているのですが、午前中は木登りをして川で泳いだりと、神山の自然の中でたっぷりと身体を動かし、午後は家の中でゆっくり過ごすことが多いです。

〈今後の抱負〉

神山の人たちが当たり前にもっている、食べ物を自給したり、火を起こしたりといった「生きる力」を子どもたちと一緒に育んでいけるように、まずは自分自身が暮らす力に身をつけて、子どもたちに伝えていけるようになりたいです。そして「ねっこぼっこ」が、地域で子どもたちを見守り、育てる、コミュニティの1つにならねばと思っています。